



特集 2

コミュニティ構想から50年 むさしの流コミュニティづくりの これまで・これから

武蔵野市で「コミュニティ構想」が示されて今年で50年。
共同体や地域社会を意味する「コミュニティ」という言葉がまだ珍しかった時代、
武蔵野市はいち早くその必要性に気付き、
コミュニティセンター＝コミセンを拠点に実践してきました。
むさしの流コミュニティづくりの50年を振り返り、
これからの地域コミュニティのあり方を見つめます。

市民の自主三原則で進められた 武蔵野市のコミュニティづくり

戦後の武蔵野市では、住宅団地の自治会や一部地域での親睦会のような町内会的な組織はあったものの、全市民的な自治会や町内会を持ちませんでした。しかし、急激な都市化に伴う人口の増加などを背景に、市民同士の対話や交流、連帯を生む何らかのしくみが必要とされ、昭和46（1971）年の第一期基本構想・長期計画内で「コミュニティ構想」が示されました。

基本構想には、「市民の連帯のもとづく、私たちの市民の自発性こそが、伝統的なきずなが崩れ、個人が独立性を自覚したあとに築かれる、都市的形態をとった現代の『ふるさと』としての武蔵野市の基本精神とならねばならない」と記されています。今こそコミュニティという言葉は日常的に目にしますが、当時、日本では明確な定義がなく、市の「コミュニティ構想」では市民自身が長期の自治活動を通してつくりあげるもので、開かれた都市空間を成していくとされています。

「コミュニティ構想」の中で、コミュニティは「市民生活の基礎単位」と位置づけられ、市民による自発的なコミュニティづくりのため、市は市民

施設を計画的に整備することとされました。「主役は市民。行政はその後押しをする黒子」という市独自のコミュニティの考え方によって、各地域の市民によるコミュニティ協議会が運営・管理するコミュニティセンター＝コミセンが、順次設置されることになったのです。そして、おのおのの地域性を生かした多様な活動を通して、市民が主体のコミュニティづくりが実践され、後に「自主参加・自主企画・自主運営」の自主三原則と呼ばれるコミュニティづくりの理念が定着していきま

す。
市でコミュニティ構想が掲げられて今年で50年。この間、少子高齢化の進展、東日本大震災などの大災害や新型コロナウイルス感染症による未曾有の危機、格差の問題など、社会を取り巻く状況は大きく変わりました。その中で、地域のコミュニティはどうあるべきか、市民主体の活動と行政の関係性はどうかあるべきかなど、さまざまな課題も浮上してきました。「市民自治」の進展を目指した「コミュニティ構想」の理念を大切にしながら、50年目を一つの節目として、市のコミュニティのあり方を振り返り、これからのあり方を見つめていきましょう。

コミュニティセンター＝コミセンって何？

／ コミセンは、子どもから高齢者まで、市民の誰もが自由に利用できる、市民が運営する多目的施設です。

／ 市内16のコミュニティ協議会が自主参加・自主企画・自主運営で施設を運営しています。

／ コミセンは、「コミュニティづくりの拠点」として機能しています。

／ 各コミセンには多目的室、会議室、学習室、調理室などのさまざまなスペースがあり、市民は目的に応じて無料で利用できます。

／ 季節ごとのお祭りやイベント、講座など、地域性を踏まえた独自のコミュニティ活動や情報発信の拠点として利用されています。



コミセンは市民の自主的な活動であることが大切

武蔵野市コミュニティ研究連絡会会長
吉祥寺東コミュニティ協議会代表
青木一郎さん

今では全国に「コミセン」と言われる施設はたくさんありますが、武蔵野市の「コミセン」とは内容が異なります。大きな違いは「武蔵野市のコミセンは市民の自主的な活動で成り立っている」ということ。これは全国的に見ても希少かつ独自のものです。実際、地域の課題への市民の関心はとても高く、各コミセンがこれまで継続できているのも運営に関わる市民の方々が意見を出し合い、地域や世代のニーズに合ったコミュニティづくりを自主的に行ってきた経緯があるからです。その中で地域の多様な団体や個人が地域の課題について話し合う「地域フォーラム」の実践が重ねられており、そしてこれらの取り組

みを実現できているのは、行政や地域団体、有識者などの支えと協力があつたからこそです。これから10年、20年とコミュニティ活動を続けていくには、今後も自主的な活動であることが大切であり、そのためには市民の若い力が必要です。今年12月に、コミュニティ構想より50年のシンポジウムを開催し、これまで、これからのコミュニティのあり方について議論しました。今年度末には「コミュニティの歴史を綴る冊子」を作成する予定です。これらがコミセンが市民にもたらしてきたものは何かを知る機会となり、コミセンの認知を広め、新しい担い手が運営に参加するきっかけとなることを期待しています。



武蔵野市のコミュニティづくりと コミセン50年のあゆみ

各地域で子どもから高齢者まで、気軽に使える「地域のコミュニティづくりの拠点」として機能するコミュニティセンター、通称コミセン。50年にわたる武蔵野市のコミュニティづくりと、これまでのコミセンのあゆみを振り返ってみましょう。

コミュニティづくりのあゆみ

1971年
昭和46年

- 第一期基本構想・長期計画の中で「コミュニティ構想」が提起される。

1974年
昭和49年

- 第一期武蔵野市コミュニティ市民委員会」が「武蔵野市コミュニティ施設整備の基本方針」を提出。

1976年
昭和51年

- コミュニティセンターの基本理念や管理・運営方法などを定めた「武蔵野市コミュニティセンター条例」が制定される。

1977年
昭和52年

- 第一号館として、境南コミセン設立。

1978年
昭和53年

- 西久保コミセン設立。

1979年
昭和54年

- 「コミュニティ研究連絡会」が設立される。市内でコミセンを運営・管理するコミュニティ協議会の代表が参加し、毎月定例会を開催。
- 中央コミセン中町集会所設立。
- 吉祥寺東コミセン設立。
- 吉祥寺北コミセン設立。
- 本町コミセン設立。

2002年
平成14年

- 市民のライフスタイルに合わせてコミュニティセンター条例を改正し、地域を超えて集う「目的別コミュニティ」やインターネットを利用した「電子コミュニティ」の分野も視野に入れた「武蔵野市コミュニティ条例」を制定。自己点検・評価や外部の有識者などによる「コミュニティ評価」も開始。

2006年
平成18年

- 各地域のコミュニティ協議会と市の共催による「市民と市長のタウンミーティング」を開始。市民と市長が直接対話をする貴重な場となる。

2012年
平成24年

- 八幡町コミセンが新築移転オープン。

2013年
平成25年

- 「これからの地域コミュニティと市民自治の検討のための基礎調査」を開始。
- 「武蔵野市これからの地域コミュニティ検討委員会」を設置。

時代や社会とともに

コミュニティのあり方も

柔軟に変わっていくもの

成蹊大学名誉教授
高田昭彦さん



私は1980年代半ばから武蔵野市でコミュニティづくりの活動に関わってきました。市とともにコミュニティづくりの考え方から実際の運営の手法まで、さまざまな提言を行うとともに、ゼミの学生と町の中に出て、コミュニティづくりの実践の場にも関わっています。

まだコミュニティという言葉が日本で広まっていなかった50年前、成蹊大学の佐藤先生も策定委員の一人として参加し、策定された武蔵野市のコミュニティ構想の先見性を思うとともに、時代や社会の変化とともにコミュニティのあり方も柔軟に変わっていくべきだろうとも感じています。

武蔵野市のコミュニティづくりでは、コミュニティづくりの核はコミュニティ協議会で、それを構成する市民は「自主三原則」（自主参加、自主企画、自主運営）に基づいて行動し、行政はそのサポート役（黒子）に回るといったのが基本でしたが、半世紀をかけた「市民と行政のパートナーシップに



1992年 平成4年

- ・本宿コミセン設立。
- ・吉祥寺西コミセン分館設立。
- ・関前コミセン分館設立。
- ・吉祥寺西分館、関前分館の開館により、コミセン・分館など19館、武蔵野中央公園北ホールを含む20館体制になる。

1989年 平成元年

- ・吉祥寺西コミセン設立。
- ・けやきコミセン設立。

1987年 昭和62年

- ・西部コミセン設立。

1986年 昭和61年

- ・緑町コミセン設立。
- ・武蔵野中央公園北ホール設立。

1983年 昭和58年

- ・吉祥寺南町コミセン設立。

1982年 昭和57年

- ・御殿山コミセン設立。
- ・中央コミセン設立。
- ・桜堤コミセン設立。

1981年 昭和56年

- ・関前コミセン設立。

1980年 昭和55年

- ・八幡町コミセン設立。

2021年 令和3年

- ・コロナ禍によりコミセンの人数制限や時短による活動制限が求められる中、各コミュニティ協議会が感染防止対策を実施しながらコミュニティづくりを進める。
- ・Wi-Fiの導入など、各コミセンの通信環境の整備に着手。

2014年 平成26年

- ・「武蔵野市これからの地域コミュニティ検討委員会」提言を発表。未来に向けた新たな地域コミュニティのあり方が検討される。

これからも
コミュニティづくり・
コミセンの歴史は続きます



現在、地域住民の方々の力で20カ所のコミセン・分館などの運営が行われています

基づいた「コミュニティづくり」へとゆつくり移行しつつあると思います。その歴史の中で、「コミュニティのあり方を問い直す転機となったのは、2011年の東日本大震災でしょう。これをきっかけに、「コミセンの機能なども見直しながら広く地域の連携がなされるべき」との議論も生まれました。コミセンを拠点に市民主体で活動を続けてきた武蔵野市の「コミュニティづくりですが、市民と行政が対等な立場でパートナーシップを築き、連携と協働でコミュニティづくりを進める必要性が論じられるようになったのです。このような議論を受け、新たな「コミュニティづくりの場」として、「コミュニティ協議会に加えて地域の諸団体と行政も含めた「地域フォーラム」が導入されました。また、その実現に向けての第一歩として「コミュニティ未来塾むさしの」が企画されました。

2020年からはコロナ禍となり、人と人が容易に集えなくなるという「コミュニティづくりの根幹に関わる危機にも見舞われました。実際の活動が制限される時期だからこそ、「未来のコミュニティのあり方」について考える良い機会と捉え、見直すべき点を見直し、よりレベルアップした「コミュニティづくり」を目指すべきではないでしょうか。



ようこそコミセンへ

ご近所コミセンのイチオシを教えます

さまざまな方が利用できるよう、

各コミセンでは地域のニーズに合わせた施設の運営を行っています。

⑥ 吉祥寺西

あなたの笑顔は私の元気

吉祥寺西コミセンは閑静な住宅街の一角にあり、玄関までの折々の花が訪れる人を和ませてくれます。多種多様な活動を通して地域の人々の間に豊かな人間関係が築かれています。



吉祥寺本町 3-20-17
Tel.0422-55-3297
休館日：木曜、年末年始

⑦ 吉祥寺西（分館）

吉祥寺本町 4-10-7

Tel.0422-55-3297

休館日：木曜、年末年始



⑧ 吉祥寺北

ささえあい つなぐふれあい 北コミセン

世界三大ピアノの一つである「ペヒシュタイン」による音楽活動や広い体育館での運動活動ができます。来夏から施設大規模改修が行われ、館内がリニューアルされる予定です。



吉祥寺北町 1-22-10
Tel.0422-22-7006
休館日：月曜、年末年始

⑨ 中央

広げよう地域の輪

中央コミュニティ協議会は中央コミュニティセンターと中町集会所の2館を運営しており、多くの方々に親しまれ、いろいろな活動の拠点として地域を越えて利用されています。



中町 3-5-17
Tel.0422-53-3934
休館日：水曜、年末年始

⑩ 中央（中町集会所）

中町 1-28-5

Tel.0422-53-2251

休館日：水曜、年末年始



① 吉祥寺東

小さくても、活動は多彩で元気

野田九浦画伯屋敷跡の遺愛の庭をできるだけ残し、小さくも周辺にとけこむ平屋建ては、住民が3年間毎月話し合った選択です。100年超えの2本の桜は今やランドマークです。



吉祥寺東町 1-12-6
Tel.0422-21-4141
休館日：第4水曜、年末年始

② 本宿

地域で仲良く明るいコミセン

令和4年2月に創立30周年を迎えます。ロビーはガラス張りで開放的な空間、会議室と調理室付きの和室、学習室、子ども室もあり、ホールにはグランドピアノがあります。



吉祥寺東町 3-25-2
Tel.0422-22-0763
休館日：木曜、年末年始

③ 吉祥寺南町

ホールから会議室まで 多彩な部屋構成です

吉祥寺駅からゆっくり歩いて15分。2階は会議室、学習室に調理室と茶室。1階は休憩もできるパブリックなサロン。地下にはスタジオ2室にホールと幅広く対応しています。



吉祥寺南町 3-13-1
Tel.0422-43-6372
休館日：第2・4・5水曜、
年末年始

④ 御殿山

豊かな自然に恵まれた御殿山

テラスから明るい日差しが差し込むロビーは、癒やしの空間となっています。災害時などには地域の方々の拠点にもなり、日ごろより人とのつながりを大切に運営しています。



御殿山 1-5-11
Tel.0422-48-9309
休館日：月曜、年末年始

⑤ 本町

明るい雰囲気の 誰もが立ち寄れるコミセン

出会いは人の心を豊かにします。人と人との触れ合いは語り合うことで深まります。出会いの場、触れ合いの場として本町コミュニティセンターをご活用ください。

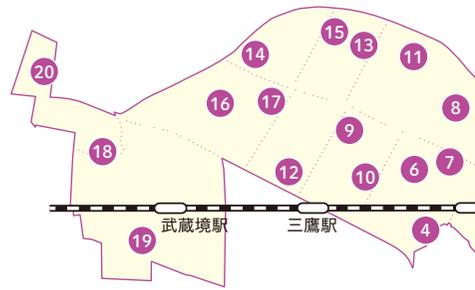


吉祥寺本町 1-22-2
Tel.0422-22-7002
休館日：日曜、年末年始



地域の皆さんに関心を持っていただける魅力的なコミセンを目指して、それぞれのコミセンが特色ある活動を行っています。ぜひ皆さんご利用ください。

武蔵野市コミュニティ研究連絡会会長
吉祥寺東コミュニティ協議会代表
青木一郎さん



16 関前

セキちゃん
みんなで踏み出す、新たな一歩

当コミセンは令和3年5月に40周年を迎え、6月に本館をリニューアルオープンしました。記念キャラクターとして「セキちゃん」がデビュー。活躍にご期待ください。



関前 2-26-10
Tel.0422-51-0206
休館日：木曜、年末年始

17 関前（分館）

関前 3-16-6
Tel.0422-51-0206
休館日：木曜、年末年始



18 西部

みんなが集う世代間交流の場
西部コミセン

地域の人と人とのつながりを大切にしたいまちづくりを目指して運営しています。会議室・学習室・体育室・茶室・調理室もあり、放課後に小中学生だけの子どもの時間もあります。



境 5-6-20
Tel.0422-56-2888
休館日：木曜、年末年始

19 境南

子どもたちが何度でも
遊びにきたくなる児童室

昨年からの改修工事がやっと終わり、夏休みの8月1日にリニューアルオープン。ママと一緒に乳幼児や小学生は笑顔です。北側の部屋ですが明るく冬場でも床暖房で安心です。



境南町 3-22-9
Tel.0422-32-8565
休館日：第1・3・5金曜、
年末年始

20 桜堤

アットホームな雰囲気・
心の拠り所

市の西端にある桜堤コミュニティセンターは隣に小金井公園があり四季折々の自然を楽しむことができます。地域の皆さんと共に来年40周年を迎えます。ぜひお立ち寄りください。



桜堤 3-3-11
Tel.0422-53-5311
休館日：火曜、年末年始

11 けやき

ユニークで
地域に愛されるコミセン

来館者の立場に立った運営と、この指とまれ方式で楽しい企画を練っています。木々に囲まれたすてきな建物で人と人をつなぐ地域の居場所になるように活動をしています。



吉祥寺北町 5-6-19
Tel.0422-54-8719
休館日：水曜、年末年始

12 西久保

コミセンはコミュニティの
拠点です!!

西久保コミセンは緑に囲まれた一角にあり、駅から近く利用内容も豊富で、幼児から高齢者まで幅広い年代の方が利用、楽しく参加し、触れ合い、活動できる場所です。



西久保 1-23-7
Tel.0422-54-8990
休館日：第3月曜、年末年始

13 緑町

笑顔でつながる緑町コミセン

今年度は、行事を開催できないと思っていましたが、感染防止対策をしながら“スマホ体験教室”を開催し、好評を頂きました。今年度は3月まで毎月1回開催しています。



緑町 3-1-17
Tel.0422-53-6954
休館日：月曜、年末年始

14 八幡町

手づくりわとわでつなぐ
はちコミ∞八幡町

10代～80代の幅広い世代が運営に関わっています。設立から長く続く事業を大切にしながら、新しいオンラインを用いた事業などにも挑戦しています。



八幡町 3-3-16
Tel.0422-54-0169
休館日：火曜、年末年始

15 武蔵野中央公園 北ホール

八幡町 2-5-3
Tel.0422-56-0055
休館日：月曜、年末年始



* (株) SUBARU、スバル興産(株)、市の3者による共同運営の施設です。